

2021年度シーズンを迎えるにあたって

(公財) 愛知県サッカー協会

審判委員会 委員長 宮下幸吉

サッカーは、世界最高のスポーツとされています。そして、今、サッカーには美しさが求められています。その「美しいサッカー」を求めるにあたって極めて重要な基盤は「公平・公正さ」です。それが、競技規則の精神となっています。私たち審判員は、競技規則のもとに各種試合をコントロールする重要な役割を担っています。その大切な役割を一人一人が誇りと自信をもって審判活動にあたっていただきたいと思います。

さて、昨年度（2020年度）審判委員会は、「登録審判員の増員」「女子審判員の充実」「レフェリーアカデミーの充実」という3つの目標をもって活動を進めてきました。新型コロナウイルス感染症拡大の中「審判員登録数」につきましては、4月1日現在、以下のとおりです。

【サッカー】9,034人（1級：7人、2級：117人、3級：1,572人、4級：7,338人）

【フットサル】490人（1級：1人、2級：30人、3級：121人、4級：338人）

全国的にはサッカー関係者の登録者数が減少傾向にある中、愛知県の審判員登録者数は、昨年度から微増となっています。「レフェリーアカデミーの充実」については、コロナ禍において実施したリモート研修で、ある程度の成果が上がってきています。「女子審判員の充実」については、課題を持ち越す結果となりました。大いに反省しています。

昨年度の反省を踏まえ、2021年度の重点目標を、以下の3点とします。

① 審判仲間の増員

- ・女性審判員の発掘と育成
- ・フットサル審判員の発掘と育成
- ・各地区審判員の育成と交流・研修の場への指導者等派遣
- ・レフェリー勉強会、夢授業の継続

② トップレフェリーの育成

- ・AIFAレフェリーアカデミーの継続と充実

③ リスペクト推進とガバナンス強化

- ・リスペクト精神の理解と積極的な波及
- ・「コンプライアンス強化」「リスクマネジメント強化」によるガバナンス強化

この重点目標を達成するためには、審判に関わるすべての皆様の協力が必要となります。新型コロナウイルス感染症の終息が予測できない中、皆様もご苦労されていることが多いかと思いますが、ぜひご協力ください。皆様の力を結集し、より楽しく、より魅力的な愛知のサッカーを一緒に創造してくださることをお願いしたいと思います。本年度も、よろしく願いいたします。